

髮際

〔伊呂波字類抄〕加體髮際カミキハ

〔增補下學集〕上二髮際カミキハ

〔書言字考〕節用集髮際カミキハ

〔新撰字鏡〕肉臙臙同奴浩反、奈豆支、

〔倭名類聚抄〕頭面腦說文云、腦、奴道作臙和名奈頭中髓腦也、

〔箋注倭名類聚抄〕頭面龍龜手鑑腦正腦今臙俗按說文從匕作腦爲正、作腦未爲正、新撰字鏡、醫心

方同訓略所引七部文、原書腦作腦按玉篇腦亦作腦、原書今本作頭臙也、無中字、慧琳音義三引

皆作頭中髓也、與此合、

〔伊呂波字類抄〕奈腦ナツキ、ナウ、臙已上

〔增補下學集〕上二腦ナツキ

〔和漢三才圖會〕十一督脉 二十八穴

腦戶風在枕骨上、強間後一寸五分直髮際督脉與足太陽之會灸針如刺中腦戶入腦立死灸之

人瘡

〔平家物語〕八那都羅の事

御母ぎそめ殿の後より、御つかひくしのはのごとくに、まげうはしりかさなつて、御かたすでにまけいろに見ゆ、いかせん、と仰ければ、ゑりやう和尚は大るとくのほうを行はれるが、こは心うき事也、とて、とつこをもつてかうべをつきやぶり、なづきをくだし乳に和して、ごまにたきくろけぶりを立て、一もみもまれたりければ、よしをすまふにかちにけり、

〔和漢三才圖會〕十人倫之用、禿音俗云波介

說文云、禿無髮也、人髮不織長若禾稼也、故字从人上禾、

白禿

腦